

第79期中間報告書
フクダ電子株式会社
2025.09

2025年4月1日から2025年9月30日まで



<https://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960



代表取締役会長
福田 孝太郎

フクダ電子の歩みは、
国産第一号の心電計開発から始まりました。
様々な変化の時代に対応し続け、
テクノロジーと人間力の融合に取り組みながら、
医療・医学の進歩に寄与してまいりました。
フクダ電子は85年を越える歴史を基盤に、
医療機器専門メーカーとしてチャレンジを続け、
社会からの信頼とともに、
これからも人々の健康に貢献できる
医療のイノベーションを創出してまいります。



代表取締役社長
白井 大治郎

医療機器専門メーカーにとって、
社会との信頼関係は大変重要です。
それは人々の健康に役立つ成果を、
一つ一つ実現して築き上げていくことだと考えます。
フクダ電子は社会の変化や要請にお応えできる
イノベーターでありチャレンジャーであり続けます。
お客様の目線で、
真のニーズを掘り起こすことで
医療・医学の進歩に貢献しながら、
「100年企業」を目指してまいります。

経営理念

社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する

株主様への利益還元について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要
施策として位置づけ、必要な内部留保を保ち
つつ安定的かつ継続的に成果配分することを
基本方針としております。

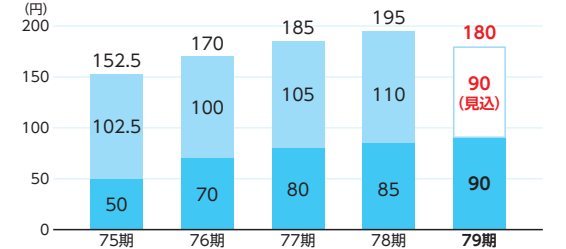
当期の中間配当は1株につき普通配当65円に
特別配当25円を加え90円とさせていただきます。

1株当たりの 中間配当金

90円

普通配当：65円
特別配当：25円

配当金の推移



※当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、75期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金を算定しております。

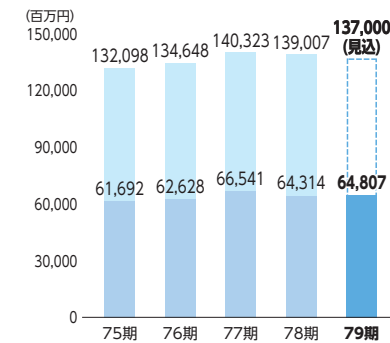
営業概況 (2025年4月1日～2025年9月30日)

当中間連結会計期間におけるわが国経済は緩やかな回復
基調にあるものの、先行きについては国際情勢等を受けた
資源価格の上昇や、世界的な貿易摩擦による影響が危惧さ
れる等、不透明な状況が続いています。

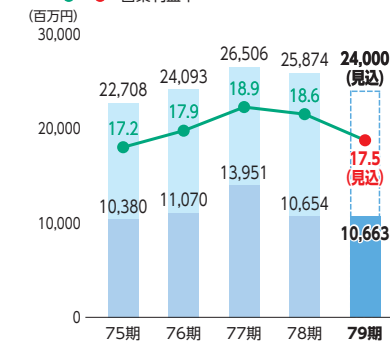
医療業界においては、医療分野のデジタル化を進める医
療DXの推進や、地域医療構想による医療機関の機能分化と
連携を通じた効率的な医療提供体制の構築が求められてい
ます。

このような環境の中、当中間期連結売上高は648億7百万
円（前年同期比0.8%増）となりました。利益につきましては、
連結営業利益は106億63百万円（前年同期比0.1%増）、
連結経常利益は109億26百万円（前年同期比3.0%減）と
なりました。親会社株主に帰属する中間純利益は75億78
百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

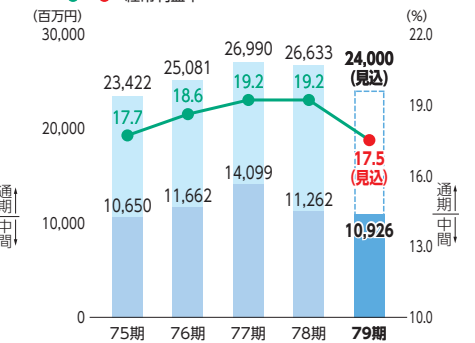
売上高



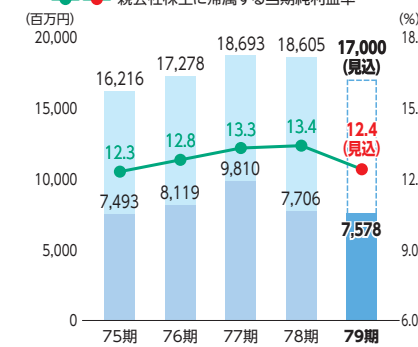
営業利益/営業利益率



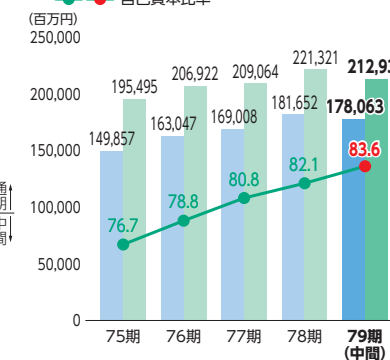
経常利益/経常利益率



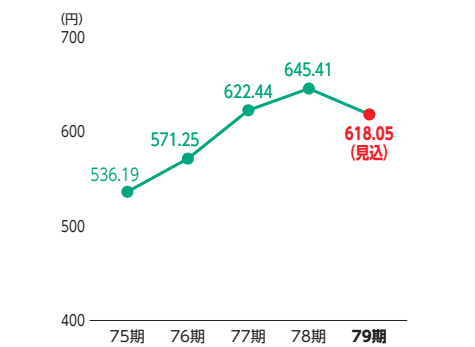
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益率



自己資本/総資産/自己資本比率



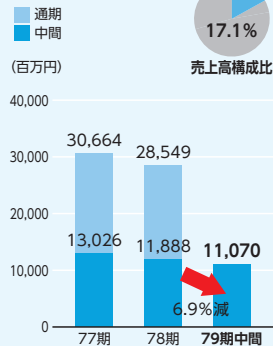
EPS (1株当たり当期純利益)



連結営業の概況

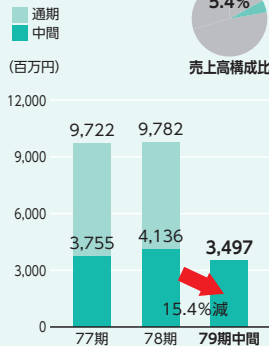
部門別概況 (2025年4月1日～2025年9月30日)

生体検査装置部門



心電計関連、自動血球計数装置、血圧脈波検査装置等の売上が減少しました。

生体情報モニター部門



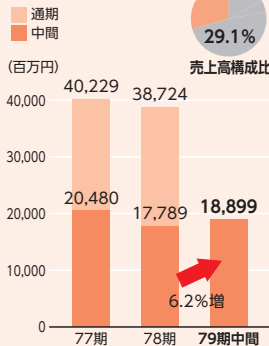
モニタの売上が減少しました。

治療装置部門



在宅医療向けレンタル事業が伸張り、売上が増加しました。

消耗品等部門



消耗品等部門の売上が増加しました。消耗品等部門は、各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守等を含みます。

フクダグループを取り巻く環境の変化

》日本の医療を取り巻く環境

高齢化の進展による医療需要の増加と医療費抑制への動きが進む一方、医師含む医療従事者不足が深刻な問題となり正に変化の時を迎えている

》持続可能な全世代型社会保障の構築

医療費を適正化しつつ医療機能分化と連携を一層重視

- ・医療分野におけるDXの推進など
- ・地域医療構想、地域包括ケアシステムの推進など
- ・救急・災害医療体制等の充実など

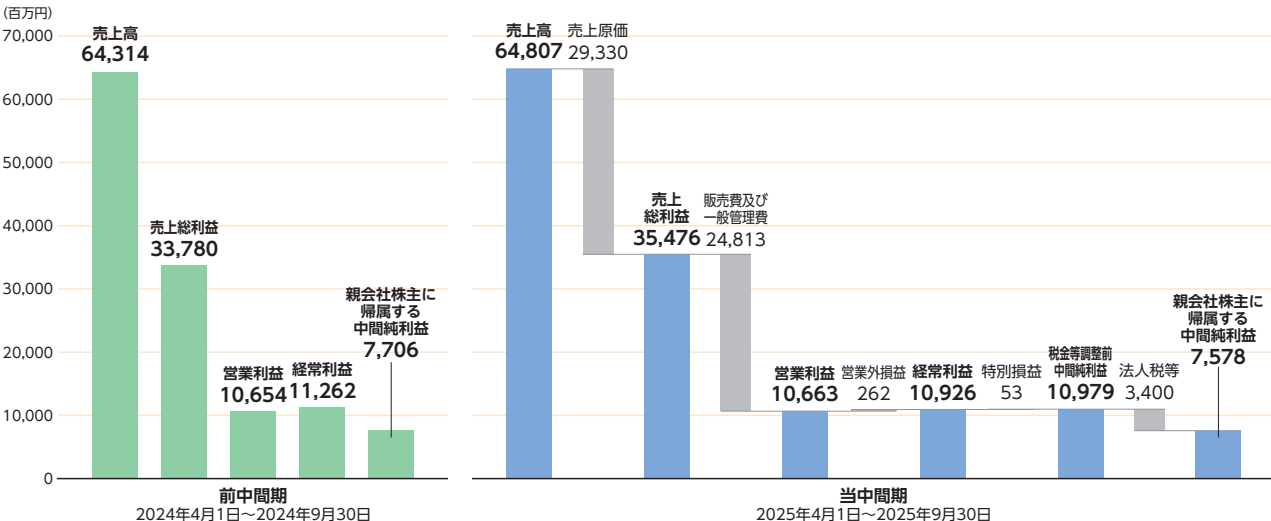
》地域医療を支える当社の取り組み

- ・f'no, f'Rens, フクダレスキューWebなどのITソリューションを展開
- ・HOT, CPAP, 人工呼吸器など在宅事業の強化
- ・医療従事者等の業務負担軽減や効率化に貢献する新製品の開発

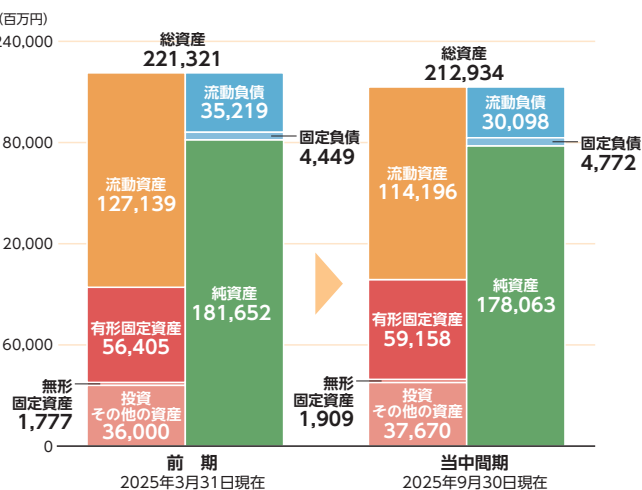
連結財務諸表



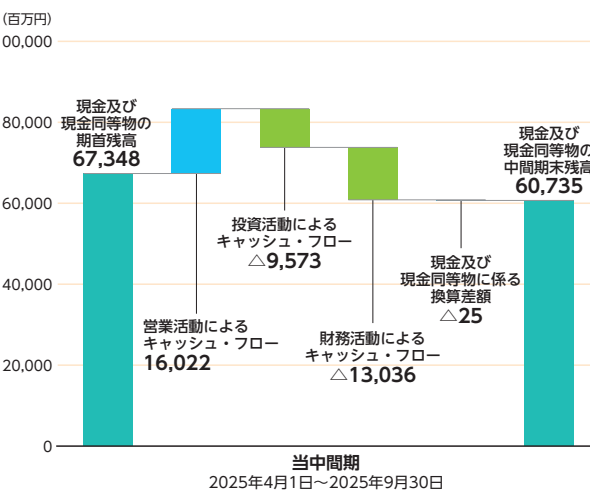
連結損益計算書の概要



連結貸借対照表の概要



連結キャッシュ・フローの概要



詳細な財務情報は当社ホームページ「IR情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

<https://www.fukuda.co.jp/ir/>

2025年4月、フクダ電子白井事業所 新棟が誕生。

フクダ電子は千葉県と宮城県の2拠点で製造・生産を行っております。

フクダ電子白井事業所 (千葉県白井市)

白井事業所は1973年、現在の千葉県白井市に建設。国内生産にこだわりながら海外市場まで視野に入れたEMCセンターや安全試験センターも設置しております。



白井事業所 新棟外観



新棟敷地内へ災害時に利用可能な携帯電話充電用ソーラーパネル(同時50人使用可)を設置。

当社の原点である心電計をはじめ、生体情報モニタや酸素濃縮装置などの主力製品を中心に生産を行っております。また、最新の医療機器を取り扱う生産拠点として、徹底した環境管理も実施しております。



心電図検査装置

血圧脈波検査装置

生体情報モニタ
AED(自動体外式除細動器)

空気清浄除菌脱臭装置

酸素濃縮装置

サステナブルな取り組み

自社一貫体制にてオーバーホールをシステム化し、高い品質を維持しております。



2年毎に酸素濃縮装置の引き取りを実施

1 消毒・殺菌



2 分解



5 出荷前検査



3 清掃



4 組立



※写真はイメージです

フクダ電子ファインテック仙台(株)

(宮城県黒川郡大和町)

フクダ電子ファインテック仙台は2012年より稼働。主にカテーテルと心電図検査用電極の生産を行っております。



- ▶ 心電図検査用電極
- ▶ 心腔内除細動カテーテル
- ▶ 心電図用電極 エコーパッド
- ▶ SpO2センサ など

AED（自動体外式除細動器）『ダイナハート FA-A1D/FA-S1D』が 2025年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

フクダ電子のAED（自動体外式除細動器）『ダイナハート FA-A1D/FA-S1D』が、公益財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2025年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。本製品は、当社として初の『国産AED』であり、操作者の負担や不安を軽減するカラー液晶画面を搭載しています。本機能を用いることで初めてAEDを使用する方にも分かりやすくガイドを行い、適切な救命処置をサポートいたします。

AED（自動体外式除細動器）

DYNAHEART 国産

ダイナハート



FA-A1D

医療機器承認番号:30700BZX00156000
販売名:FA-A1シリーズ
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

FA-S1D

医療機器承認番号:30700BZX00155000
販売名:FA-S1シリーズ
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器



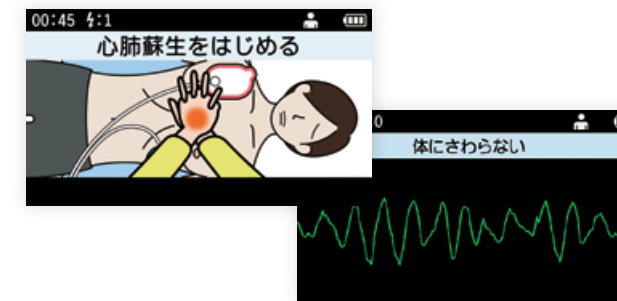
**GOOD DESIGN
AWARD 2025**

グッドデザイン賞とは、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

AED（自動体外式除細動器）ダイナハート FA-A1D/FA-S1D の主な特長

4.3インチカラー液晶画面を搭載

- ▶ 設計から製造、品質管理まで国内一貫生産
- ▶ 日本語・英語に対応
- ▶ 設置場所を選ばないコンパクトサイズ
- ▶ 毎日の自動作動確認で常時安心使用
- ▶ IP66相当の防塵・防水、耐衝撃性を確保
- ▶ 消耗品管理や機器状況をリアルタイム管理
- ▶ 心電図波形表示への切り替え



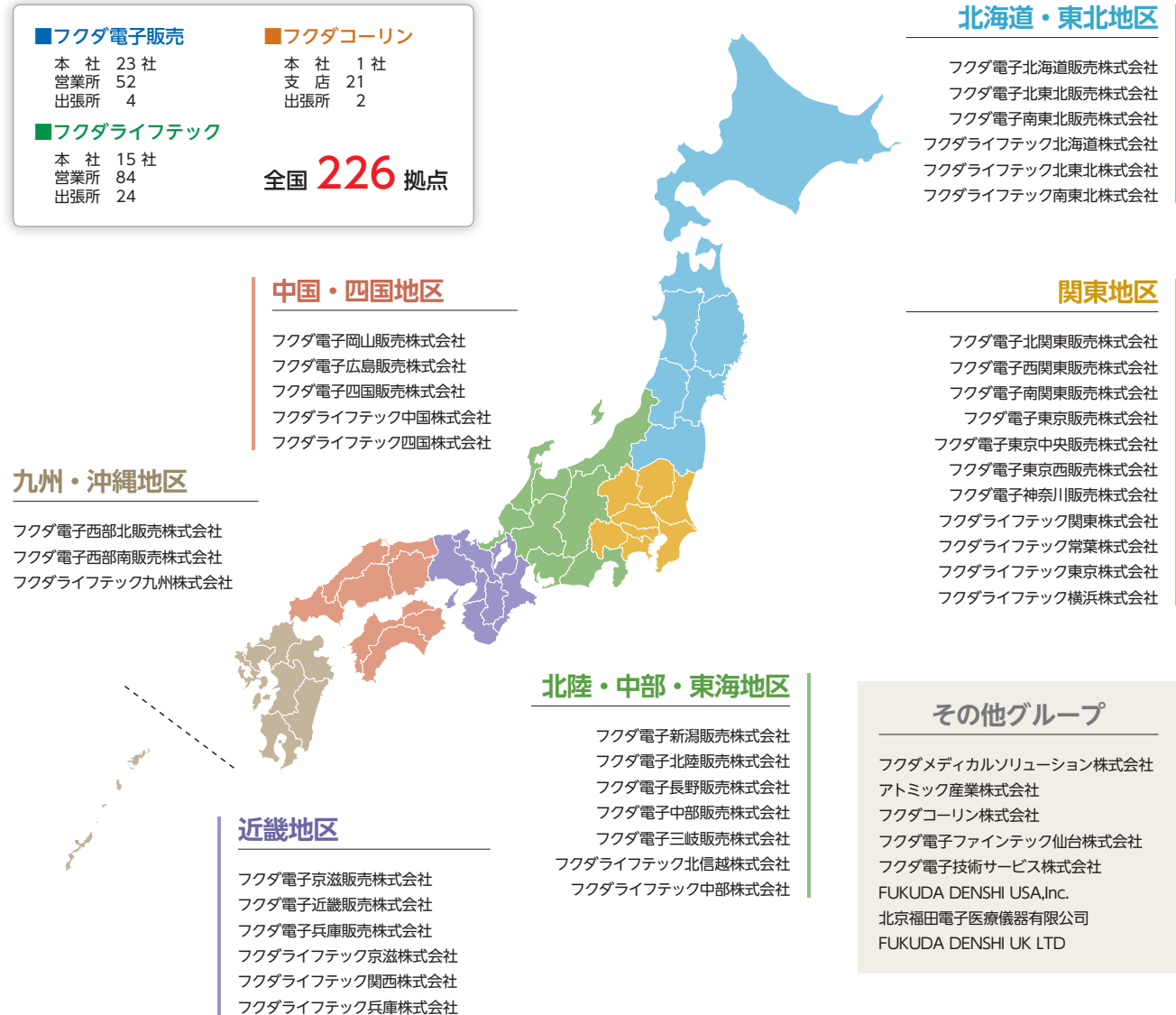
オートショック機能を備えたAED

- ▶ 早期除細動の実現
- ▶ 操作者が電気ショックボタンを押す際の心的負担の軽減
- ▶ 耳の不自由な方にも電気ショックのタイミングが分かりやすいビジュアルカウントダウン機能を搭載



フクダグループ

地域密着型の全国ネットワークで、よりよい製品とサービスの提供に努めております。



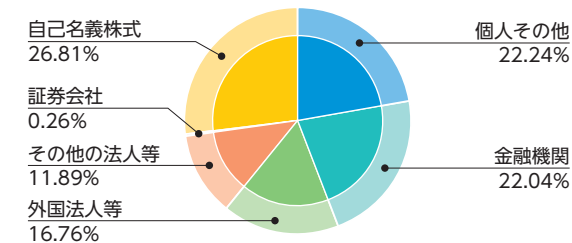
会社の概況

商 号	フクダ電子株式会社
設 立	1948年（昭和23年）7月6日
資 本 金	46億2,160万円
事 業 内 容	医用電子機器の開発・製造・販売及び輸出入
本店所在地	〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号
主な取引銀行	株式会社きらぼし銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社北陸銀行 株式会社七十七銀行 株式会社商工組合中央金庫 みずほ信託銀行株式会社

株式の状況

発行可能株式総数	156,000,000株
発行済株式の総数	37,747,300株
株主数	3,524名

所有者別分布状況（%は持株比率）



取締役及び監査役

代表取締役会長	福 田 孝太郎
代表取締役社長	白 井 大治郎
常 務 取 締 役	小 川 治 男
常 務 取 締 役	小 玄 地 一 男
常 務 取 締 役	久 野 直 樹
取 締 役	福 田 修 一
社 外 取 締 役	杉 山 昌 明
社 外 取 締 役	佐 藤 幸 雄
社 外 取 締 役	古 屋 一 樹
社 外 取 締 役	伏 黒 久 高
社 外 取 締 役	阿 部 啓 子
常 勤 監 査 役	太田垣 吉 孝
社 外 監 査 役	後 藤 啓 二
社 外 監 査 役	廣 江 昇

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
センチュリー産業株式会社	3,000	10.86
福田 孝太郎	2,640	9.56
日本生命保険相互会社	1,505	5.45
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 きらぼし銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,390	5.03
株式会社三菱UFJ銀行	1,355	4.91
株式会社みずほ銀行	1,042	3.77
株式会社北陸銀行	1,000	3.62
福田 百合子	734	2.66
フクダ電子従業員持株会	641	2.32
公益財団法人福田記念医療技術振興財団	600	2.17

(注) 1 当社は自己株式を10,120千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

(注) 2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか取締役会の決議で定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付／ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
公告方法	当社ホームページに掲載する。(電子公告) < https://www.fukuda.co.jp >
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)

◆株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

電話お問い合わせ先	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
-----------	---------------------------

◆株式事務に関するご案内

●証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

●特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ 及び郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きを行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。

なお、未払配当金のお支払いは、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
-----------------	-------------------------------------------------------------

フクダ電子株式会社

東京都文京区本郷3-39-4 TEL. (03) 3815-2121代

医療機器のフクダ電子 | 検索

UD FONT

